

講座 デジタルアーカイブの目標と活用 ～だれのために、何のために～

講師：宮本聖二



デジタルアーカイブの持続性のためには、できるだけ多くの人に利活用されることが大切です！そのためには、誰がどのようにデジタルアーカイブを利用するのかを想定し構造やデザイン考えることが大切です。

さらに、利活用のために想定される人々や団体にどのようにアピールし活用を促すのか、そこまでの取り組みも重要です。

これまでの、デジタルアーカイブ構築と運営のなかで経験したことをもとにお話いたします！！

立教大学大学院社会デザイン研究所 研究員
ヤフー株式会社メディアカンパニー エグゼクティブ・プロデューサー
デジタル情報記録管理士 〈DIRA〉

1981年NHKにアナウンサーとして入局。
報道局「ニュース11」デスク、「アジアナウ」デスク。
報道局「おはよう日本」チーフ・プロデューサー。
2008年から、「戦争証言プロジェクト」で日本人の戦争体験を収集し番組を制作、同時にネット配信する「戦争証言アーカイブス」の責任者をつとめる。
2011年に「東日本大震災証言プロジェクト」責任者として、震災の体験を番組化し、ネット配信する「東日本大震災アーカイブス」を制作。
NHK放送研修センターを経て、ヤフー株式会社で映像コンテンツの制作に取り組む。

開催日：2016年7月2日(土)

時間：13時～15時半

会場：【東京】連合会館

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

定員：15名

参加費：6,000円

※DIRA資格保持者は5,000円

申込方法

① <申込みフォーム>から申し込む方法

デジタル情報記録管理協会 HP <http://www.j-dira.com/> <申込みフォーム>よりお申込ください。

② <FAX>で申し込む方法

FAX番号「075-950-7158」に【住所、氏名、年齢、電話番号、E-mail、会社名】を明記のうえ、お申込みください。

☆☆ 申込み受付け後「受講しおり(参加料支払い方法等)」を送付いたします ☆☆

お問い合わせ先

講座運営担当 (DIRA 認定教育機関)

NPO法人コンサウェル TEL・FAX：075-950-7158

E-mail：staniguchi@npo-csw.org

主催：一般社団法人 デジタル情報記録管理協会〔DIRA〕 <http://www.j-dira.com/>

講座運営：NPO法人 コンサウェル〔DIRA 認定教育機関〕 <http://npo-csw.org/>